

3. 組合のあゆみ

昭和48年	4月	1日	十四山村、飛島村、弥富町の1町2村で海部南部消防組合を設立 消防本部を設置、救急業務のみを開始 初代管理者消防長 大木利之 就任 仮事務所を弥富町役場内に置く 指揮車（無線付） 1台（弥富ライオンズクラブから寄贈） 救急車（無線付） 1台 III-B型
昭和48年	4月	12日	消防署庁舎用地取得 10,396㎡ 海部郡飛島村大字大宝新田字サノ割555-6番地
昭和48年	9月	1日	消防署を設置 消防業務を開始 初代消防署長 伊藤一男 就任 普通消防ポンプ自動車（無線付） 1台配備 小型動力ポンプ 1台配備
昭和48年	11月	1日	水槽付消防ポンプ自動車（無線付） 1台配備
昭和48年	12月	17日	消防庁舎竣工 鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 1,502㎡ 海部郡飛島村大字大宝新田字サノ割555-6番地 救急指令装置B型設置
昭和48年	12月	20日	新庁舎へ移転し業務開始 弥富町役場の仮事務所閉鎖
昭和49年	2月	23日	消防庁舎竣工式
昭和49年	3月	1日	救急車（無線付） 1台配備 III-B型 連絡車（無線付） 1台配備
昭和49年	4月	1日	海部南部危険物安全協会結成
昭和49年	10月	24日	広報車（無線付） 1台（宇佐美鋳油店から寄贈）
昭和50年	4月	1日	海部南部消防連絡協議会結成 二代目管理者消防長 立松義勝 就任
昭和50年	4月	22日	普通消防ポンプ自動車 1台（日本損害保険協会から寄贈）
昭和51年	3月	12日	各町村消防団本部車両（消防ポンプ自動車）無線機配備
昭和51年	7月	14日	飛島村東浜三丁目2～5番地の区域が石油コンビナート等特別 防災区域に指定（名古屋港臨海地区）
昭和52年	4月	1日	三代目管理者消防長 佐藤 博 就任
昭和52年	4月	12日	消防本部庁舎3階に機械器具展示室設置腕用ポンプ、手引き動力 ポンプ、消火器等（管内地区、防災関係業者から寄贈）
昭和52年	9月	17日	船外機付舟艇 1艇配備 連絡車 更新
昭和54年	2月	7日	バスケット付大型高所放水車（無線付） 1台配備
昭和54年	4月	1日	消防力充実のため総合計画を樹立 四代目管理者消防長 大木利之 就任
昭和54年	4月	28日	五代目管理者消防長 加藤鋭男 就任

昭和55年 2月 8日 大型化学車（無線付） 1台配備

昭和55年 9月 8日 大型車両配備に伴い車庫及び倉庫を増設
鉄骨造2階建 262m²

昭和55年12月19日 泡原液搬送車（無線付） 1台配備

昭和56年 2月24日 北分署庁舎用地取得 5,055m²
海部郡弥富町大字鎌倉123番地

昭和56年 4月 1日 六代目管理者消防長 大橋オ一 就任

昭和56年12月15日 北分署庁舎竣工
鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 753m²
北分署業務開始
普通消防ポンプ自動車、救急車、広報車、 各1台配備
分署長以下15名の職員

昭和57年 5月31日 広報車（無線付） 1台 本署に配備

昭和57年11月13日 水槽付消防ポンプ自動車（無線付）
本署 1台更新 分署 1台配備

昭和58年 1月18日 救急車（無線付） 1台 II-B型 北分署に配備
（日本自動車工業会から寄贈）

昭和58年 4月 1日 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立
七代目管理者消防長 佐藤 博 就任
北分署4名増員

昭和58年 6月23日 本署 指令車（無線付） 1台更新

昭和58年 6月25日 本署庁舎改修工事を施行

昭和58年 9月 1日 訓練人形（レサシアン） 1体（弥富ライオンズクラブから寄贈）

昭和58年12月20日 本署 車庫増築 鉄骨造 51m²

昭和59年 3月30日 本署 救急車（無線付）1台更新 III-B型

昭和59年 4月 1日 北分署4名増員

昭和59年 6月 8日 査察車（無線付） 1台本署に配備
（海部南部危険物安全協会から寄贈）

昭和59年 8月15日 船外機付舟艇 1艇北分署に配備

昭和59年10月24日 北分署 広報車（無線付） 1台本署に配備

昭和60年 1月 1日 八代目消防長（常勤専任） 伊藤一男 就任（消防署長兼任）

昭和60年 4月 1日 九代目消防長 都築 勇 就任
二代目消防署長 加藤敏男 就任

昭和60年10月22日 本署 普通消防ポンプ自動車（無線付） 1台更新
（日本損害保険協会から寄贈）

昭和60年11月 1日 土地改良事業により本換地完了につき住所更正
海部郡飛島村大宝五丁目182番地

昭和61年 4月 1日 消防計画10ヶ年計画樹立
上記計画に基づく3ヶ年実施計画樹立

昭和61年11月 1日 仮称南部出張所業務開始
海部郡飛島村木場二丁目3番地

昭和62年	2月26日	救助工作車（無線付）	1台本署に配備
昭和63年	4月1日	南出張所業務開始	
		救急車（無線付）	1台 II-B型 南出張所に配備
昭和63年	6月2日	北分署 出動灯設置	(弥富ライオンズクラブから寄贈)
昭和63年	8月19日	第17回全国消防救助技術大会	(横浜市)
		はしご登はん	小椋正巳 出場
昭和63年	8月30日	本署 出動灯・投光器設置	
昭和63年	9月22日	高所放水車	オーバーホール
昭和63年	12月15日	本署 連絡車（無線付）	更新
平成元年	4月1日	三代目消防署長	青木善盛 就任
		総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立	
平成元年	9月27日	資機材搬送車（無線付）	1台本署に配備
平成2年	3月20日	北分署 普通消防ポンプ自動車（無線付）	1台更新
平成2年	8月24日	第19回全国消防救助技術大会	(広島市)
		はしご登はん	八木雄司 出場
平成3年	1月21日	船外機付舟艇	1艇本署に配備
平成3年	1月31日	消防庁舎増改築	
		鉄骨造3階建	床面積84㎡
平成4年	2月19日	消防緊急通信指令施設II型	(旧指令装置B型)を更新
平成4年	3月4日	本署 水槽付消防ポンプ自動車（無線付）	1台配備
平成4年	3月19日	緊急通報システム	(高齢者在宅福祉事業)センターを設置
平成4年	4月1日	海部南部消防組合規約改正に伴い副管理者制を導入	
		総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立	
平成5年	1月1日	完全週休二日制を実施	
平成5年	1月6日	本署 指揮車（無線付）	1台配備
平成5年	1月8日	海部南部消防組合発足20周年記念式典を実施	
		海部南部消防組合発足20周年記念誌を作製	
平成5年	1月28日	県道の拡幅により土地売却	(売却面積790㎡)
平成5年	2月9日	北分署 広報塔を設置	(弥富ライオンズクラブから寄贈)
平成5年	8月20日	第21回全国消防救助技術大会	(福岡市)
		はしご登はん	八木雄司、立松健一 出場
平成6年	3月10日	北分署 救急車（無線付）	更新 II-B型
平成6年	3月18日	本署 訓練場を拡張	4,129㎡
		交替制勤務者の三部制を実施	
平成6年	5月24日	査察車（無線付）	1台本署に配備 (海部南部危険物安全協会から寄贈)
平成6年	11月18日	救急救命士誕生	
平成7年	1月17日	阪神・淡路大震災	
		消火隊(2隊)	6名派遣
平成7年	2月28日	高規格救急車（無線付）	1台本署に配備
平成7年	3月30日	本署 査察車（無線付）	更新

平成 7年 4月 1日 四代目消防署長 山田幸雄 就任
愛知県海部事務所へ実務研修生として1名派遣
(平成8年3月31日まで)

平成 7年12月20日 高所放水車2回目のオーバーホール

平成 8年 2月29日 北分署 広報車(無線付) 更新

平成 8年 3月15日 南出張所庁舎増改築
鉄骨造2階建 延床面積 224㎡

平成 8年 4月 1日 南出張所業務開始
水槽付消防ポンプ自動車、救急車、査察車、各1台配備
出張所長以下10名の職員
総合計画に基づく消防力整備計画
(平成8年度から平成17年度まで)を樹立

平成 8年 4月 1日 愛知県消防学校へ教官として1名派遣(平成10年3月31日まで)

平成 8年11月26日 小型動力ポンプ 1台本署に配備

平成 8年12月16日 小型動力ポンプ 北分署及び南出張所に1台配備

平成 9年 2月 6日 小型動力ポンプ付水槽車(無線付) 1台本署に配備
泡原液搬送車 本署から北分署へ配置替

平成 9年 4月 1日 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立
愛知県消防協会へ実務研修生として職員1名派遣
(平成11年3月31日まで)

平成 9年 8月22日 第26回全国消防救助技術大会(千葉市)
ロープブリッジ渡過 細木健治 出場

平成10年 1月 9日 北分署庁舎改修工事

平成10年 1月16日 高規格救急車(無線付) 1台分署に配備

平成10年 3月 8日 資機材搬送車 1台本署に配備(弥富ライオンズクラブから寄贈)

平成10年 4月 1日 職員相互人事交流を開始(海部東部消防組合)

平成10年 8月28日 第27回全国消防救助技術大会(大阪市)2種目出場
ロープブリッジ渡過 細木健治
ロープブリッジ救出 瀬古公春、吉田政登、岡田憲和、馬場貴浩

平成10年 9月28日 本署 連絡車 更新

平成10年11月25日 本署 梯子等収納庫増設

平成10年12月18日 消防緊急通信指令施設をオーバーホール

平成11年 2月22日 本署 水槽付消防ポンプ自動車(無線付) 更新

平成11年 3月 4日 南出張所 査察車(無線付) 更新(十四山村から寄贈)

平成11年 4月 1日 五代目消防署長 平野 豊 就任
職員相互人事交流を実施(海部東部消防組合、蟹江町)

平成11年 8月19日 第28回全国消防救助技術大会(横浜市)
ロープブリッジ救出 瀬古公春、吉田政登、岡田憲和、馬場貴浩

平成12年 2月10日 北分署 水槽付消防ポンプ自動車(無線付) 更新
(社)日本損害保険協会より寄贈)

平成12年 2月29日 本署 消防ポンプ自動車(無線付) 更新

平成12年 4月 1日 十代目消防長 平野 豊 就任
 六代目消防署長 佐藤 武 就任
 愛知県消防防災課へ実務研修生として職員1名派遣
 (平成13年3月31日まで)
 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立

平成12年12月19日 資機材搬送車(無線付) 更新

平成13年 4月 1日 十一代目消防長 佐藤 武 就任
 七代目消防署長 加藤寛一 就任
 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 当直課長制を実施

平成13年 8月 8日 第30回全国消防救助技術大会(東京)
 はしご登はん 佐藤弘光 出場

平成13年12月19日 本署 高所放水車(無線付) 更新

平成14年 4月 1日 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 愛知県消防防災ヘリコプターへ職員1名派遣(2年間)

平成14年 8月23日 第31回全国消防救助技術大会 名古屋市(2種目出場)
 はしご登はん 佐藤弘光
 ロープブリッジ渡過 飯田祐治

平成14年 9月 1日 名古屋市消防局へ職員1名派遣(平成16年3月まで)

平成14年12月25日 本署 大型化学車(無線付) 更新

平成15年 4月 1日 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 北分署3名増員
 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立

平成15年 8月28日 第32回全国消防救助技術大会 仙台市(2種目出場)
 ロープブリッジ救出 早川昌範、馬場貴浩、内山誠司、志水泰則
 ロープブリッジ渡過 飯田祐治

平成16年 1月22日 北分署 消防ポンプ自動車(無線付) 更新

平成16年 2月23日 南出張所 高規格救急車(無線付) 更新

平成16年 3月15日 本署庁舎耐震改修等工事完了

平成16年 3月15日 本署訓練塔建設工事完了

平成16年 4月 1日 職員相互人事交流を実施(蟹江町、海部東部消防組合、海部西部広域事務組合)

平成16年 4月 1日 十二代目消防長 佐藤英之 就任
 八代目消防署長 加藤万典 就任
 潜水隊 運用開始

平成16年 6月 1日 連絡2号車 1台本署に配備
 (海部南部危険物安全協会から寄贈)

平成16年 7月18日 福井豪雨災害
 救助隊(1隊)5名派遣

平成16年12月25日 本署車庫等屋上防水工事

平成17年 1月21日 本署 泡原液搬送車（無線付）更新
 平成17年 2月 8日 本署 救助工作車（無線付）更新
 平成17年 3月 1日 2005年日本国際博覧会における消防広域応援 職員1名派遣
 （平成17年9月30日まで）
 平成17年10月19日 本署 泡原液タンク据付工事完了
 平成17年 8月25日 第34回全国消防救助技術大会（さいたま市）に出場
 障害突破 鈴木範夫、木全貞能、鈴木基寛、関山浩、佐藤洋平
 平成17年10月 5日 北分署 広報車（無線付）更新
 平成17年10月14日 本署 指揮車（無線付）更新
 平成18年 3月17日 本署 通信指令台改修工事完了
 平成18年 4月 1日 弥富町と十四山村とが合併し、弥富市となる。
 十三代目消防長 加藤万典 就任
 九代目消防署長 三浦恒男 就任
 総合計画に基づく消防力整備計画
 （平成18年度から平成27年度まで）を樹立
 平成18年12月22日 高度救助用資機材 本署に整備
 平成19年 3月26日 本署 高規格救急車（無線付）更新
 平成19年 4月 1日 十四代目消防長 前田盛夫 就任
 愛知県防災局消防保安課へ実務研修生として職員1名派遣
 （平成20年3月31日まで）
 平成19年 6月27日 緊急通報システム（高齢者在宅福祉事業）センター設備更新
 平成19年11月 6日 南出張所 消防ポンプ自動車（無線付）更新
 平成20年 1月25日 北分署 高規格救急車（無線付）更新
 平成20年 7月15日 高所放水車のオーバーホール
 平成20年 8月 1日 IP・携帯発信位置情報通知システム 導入
 平成20年12月25日 本署 査察車（無線付）更新
 平成22年 4月 1日 十五代目消防長 伊藤種雄 就任
 十代目消防署長 山口 実 就任
 愛知県消防学校へ教官として1名派遣（平成24年3月31日まで）
 平成22年 5月17日 ドクターカー運用開始（海南病院）
 平成22年 8月 9日 第39回全国消防救助技術大会（京都府）に出場
 ロープブリッジ救出 鈴木大輔、山田哲也、水野泰宏、白神英伸
 平成22年11月11日 海部南部消防組合消防署北分署仮眠室個室化及び変電設備設置等工
 事完了
 平成23年 2月14日 海部地方消防指令センターの設置及び運用に関する覚書の締結
 平成23年 3月11日 東日本大震災
 緊急消防援助隊愛知県隊（消火隊）37名派遣
 平成23年 4月 1日 十六代目消防長 中山憲治 就任
 十一代目消防署長 大隅一弘 就任
 平成23年 7月29日 北分署 水難救助用ゴムボート 配備
 平成23年11月11日 本署 連絡車 更新

平成24年	3月21日	本署 査察1号車 (無線付) 更新
平成24年	3月27日	南出張所 高規格救急車 (無線付) 更新
平成24年	8月 7日	第41回全国消防救助技術大会 (東京都) に出場 障害突破 横井裕樹、水谷真康、中山良太、幅 翔平、飯田大輔
平成25年	2月 4日	海部地方消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書の締結
平成25年	3月28日	海部地方消防指令センター開所式 (弥富市十四山スポーツセンター)
平成25年	4月 1日	海部地方消防通信指令事務協議会設置 海部地方消防指令センター運用開始 (弥富市役所十四山支所2階) 海部地方消防通信指令事務協議会へ職員5名派遣 愛知県消防防災ヘリコプターへ職員1名派遣 (3年間)
平成26年	2月 1日	本署、北分署 水槽付消防ポンプ自動車 (無線付) 更新
平成26年	3月 4日	南出張所 水難救助用舟艇 配備
平成26年	3月28日	本署 救助訓練用施設の組立及び据付工事完了
平成26年	4月25日	高所放水車のオーバーホール
平成26年	4月28日	本署 津波・大規模風水害対策車 配備 (総務省消防庁無償貸与)
平成26年	6月 2日	本署 連絡3号車 配備 (海部南部危険物安全協会から寄贈)
平成26年	7月23日	南出張所 資器材3号車 配備 (有限会社佐藤石油店から寄贈)
平成26年	9月27日	御嶽山噴火災害 緊急消防援助隊愛知県隊 (救助隊) 10名派遣
平成27年	2月12日	本署 高規格救急車 (無線付) 更新
平成27年	4月 1日	十七代目消防長 伊藤 亨 就任 十二代目消防署長 小椋正巳 就任 消防救急デジタル無線運用開始 愛知県防災局消防保安課へ実務研修生として1名派遣 (平成28年3月31日まで) 再任用短時間勤務職員2名採用
平成27年	7月 1日	救急救命士 処置範囲拡大開始